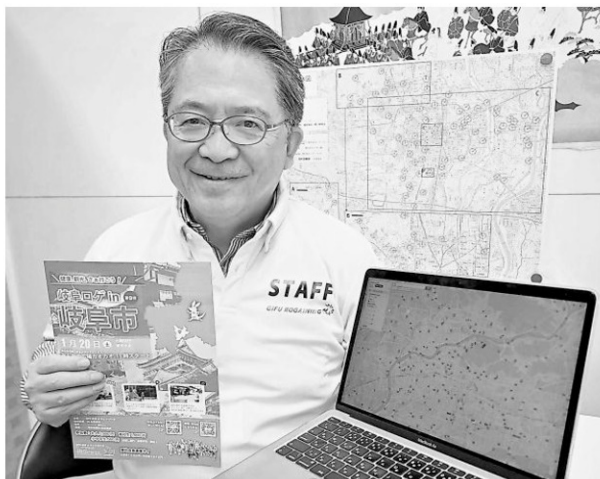


制限時間内に徒歩や公共交通機関で移動し、名所旧跡・飲食店などのチェックポイントを巡って合計得点を競うロゲイニング大会「岐阜ロゲイニング大会」が1月20日、岐阜市と近郊で催される。各ポイントの配点は難易度に応じて異なるため、前日に一斉配布される一覧表を使い、高得点を狙えるルートをいかに設定するかが鍵。観光振興や健康づくりを狙いに大会を開くNPO法人岐阜a i ネットワーク(大垣市)は、出場者を募集している。

ロゲイニングはオーストラリア発祥とされ、通常は地図やコンパスを使ってポイントを回る。同大会は岐阜市や本巣郡北方町、羽島郡岐南町、笠松町などを舞台に、設定された約100カ所のチェックポイントを回る。ポイントの決定には市岐阜商業高の生徒も協力した。

「岐阜」の名所 巡り尽くせ

20日にロゲイニング大会、参加募る



岐阜市を舞台に開くロゲイニング大会をPRする
宮田明理事長＝大垣市内

地図での参加も可能だが、同法人が開発した専用アプリ「岐阜ナビ」を使うと、事前にルートや所要時間を管理でき、位置情報からポイントへの到着も確認できる。協賛店で買い物することで獲得できる得点もある。

午前11時スタートで、制限時間は3時間と5時間の2コース。それぞれ一般、ファミリー、ソロの各部門がある。上位入賞者には県産品などが贈られる。参加費は一般3千円、高校生千円、小中学生500円。無料参加(集計対象外)のお試し部門もある。

申し込みは13日までで、大会の公式サイトから行う。同法人の宮田明理事長は「名所を巡ったり食歩きをしたり、楽しみ方はそれぞれ。特に若い人が地域の良さを知るきっかけになれば」と話す。

同法人は2022年から県内各地でロゲイニング大会を開催。今回が9回目。JA全農岐阜特別協賛、岐阜新聞社、岐阜放送後援。(宮本寛)